

宮崎県農業関連団体の人材育成に関する連携協定の締結について

公益社団法人宮崎県畜産協会、一般社団法人宮崎県農業会議、宮崎県土地改良事業団体連合会及び公益社団法人宮崎県農業振興公社は、相互の人事交流をはじめとする職員の人材育成に連携して取り組むことにより、職員の資質の向上を図り、もって本県農業の振興に寄与することを目的として、「宮崎県農業関連団体の人材育成に関する連携協定」を 10 月 30 日に締結しました。

本県の農業を取り巻く情勢は、担い手の減少や高齢化等の構造的な課題に加えて、不透明感を増す国際情勢など、大きく変化をしており、我々農業関係団体が多様化・高度化する農業者のニーズに的確に対応するためには、職員一人ひとりの一層の資質向上が必要です。人事交流や人材育成研修に連携して取り組むことで、幅広く知識を吸収し、異なる視点から自己の団体の役割を再認識したり、他の団体との関わりを認識するなど、職員自身の資質の向上はもちろん、団体間の協力体制が構築されることを目指しております。

【総務課】



宮崎県農政水産部長立ち会いの下行われた締結式

平成 30 年度「みやざき 6 次産業化チャレンジ塾」21 名が修了

11 月 8 日に宮崎観光ホテルにおいて、6 次産業化を目指す人材育成を目的とした「みやざき 6 次産業化チャレンジ塾」の閉講式を行いました。

式に先立って、これからの夢の実現に向けてチャレンジ塾を通じて学び考え、練り上げてきた経営理念や経営ビジョンなどのビジネスプランをそれぞれが発表を行いました。

引き続き行われた閉講式では、公社の梅原理事長より受講生の代表者に修了証が授与され、「6 次化チャレンジャー」15 名、「6 次化プロデューサー」6 名の合計 21 名が 8 月開講からの全 10 日間のカリキュラムを修了しました。

今後は、この塾で学んだ知識やスキルを活かした 6 次産業化事業が展開され、宮崎県の農業がさらに発展することを期待しております。

【新農業支援課】



ビジネスプラン発表



閉講式集合写真

六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画を新たに3件認定

六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を新たに3件が受けました。

今回の認定により、本県の総合化事業計画の認定は、平成23年度からの累計で104件となり、全国3位、九州1位の認定件数となっています。【新農業支援課】

新たに認定を受けた総合化事業計画一覧

事業者	事業名	市町村	認定月
有限会社 観音池ポーク	銘柄豚（観音池ポーク）を使用した高齢者向けタレ付ソフトとんバーグの開発と冷凍商品の開発製造販売事業	都城市	平成30年9月
有限会社玉光園	自然食品志向の方を対象に朝採れきのこの新鮮さを活かした化学調味料等を使用しない商品の開発・販売	小林市	平成30年11月
おたに家株式会社	自社生産の有機ハトムギを利用した加工食品の製造・販売事業	高千穂町	平成30年11月



観音池ポーク



玉光園



おたに家

みやざき6次産業化促進交流会を開催しました

11月20日にニューウェルシティ宮崎において、6次産業化取組事業者と他産業事業者との交流を深めることを目的として交流会を開催しました。第1部では、株式会社リトルワールドの斉藤豊氏、遠藤宏之氏に「チーム・シェフ～価値を磨く、販路を作る」と題して講演いただき、第2部では3事業者に6次産業化の取組事例について発表いただきました。

第3部では6次化商品の展示、支援機関紹介を行うとともに、個別相談会を実施しました。また、今回初の試みとして、第4部では展示事業者同士での交流の時間を設けました。当日は、農業者8名、一般事業者23名、支援機関15名、関係機関、団体53名、合計129名の参加があり、盛会となりました。【新農業支援課】



第1部講演会



第3部事業者交流・個別相談会

平成 30 年度みやざき就農相談会を開催しました

宮崎県で農業経営を始めたい方や、農業法人等に就職したい方を対象とした「みやざき就農相談会」を 11 月 18 日に J A ・アズムホール別館研修室で開催しました。

この相談会は、公社と（一社）宮崎県農業会議、宮崎県農業協同組合中央会が主催で、（一社）宮崎県農業法人経営者協会の共催、宮崎県、宮崎県農業経営指導士会の後援のもと開催するもので、就農を希望する方々が、農業・農村に対する理解や知識を深め、県内各地で就農・就業につながるよう、毎年開催しております。

当日は、県内外から 33 名の来場があり、県内から宮崎市をはじめ、都城市、日向市、国富町、高鍋町、新富町から計 30 名が、また県外からも東京都、鹿児島県から 3 名が来場していただきました。

相談対応コーナーは、自営や雇用就農、農業法人設立といった、総合的に幅広く情報収集できる「就農・就職総合相談」や「ベテラン農家さんのアドバイス」、各市町村・J A 等やみやざき農業実践塾の研修、機械・ハウス等の説明を聞くことができる「研修・就農支援制度相談」「ハウスの構造等・農機レンタル相談」コーナーを設け、計 23 ブースで対応しました。

また、近年、各地域でトレーニングセンターの整備や研修受け入れが行われはじめたこともあり、市町村・J A から、過去最多の 8 市町・7 J A の出展がありました。その内、東臼杵南部地域と、児湯地域からは、地域担い手協議会として初めて参加していただきました。

農業法人等の方からもブース出展いただき、会社概要や雇用条件の個別相談の対応をしていただきました。出展事業所以外の求人情報についても、ハローワークと公社の無料職業紹介のブースで、県内各地の農業法人の求人紹介を行いました。



ガイダンスの様子



相談ブースや資料コーナー

来場者は、「新たに農業を始めるにはどうしたらいいか」「地域の主な品目は何か」等、質問が出され、熱心に相談されていきました。相談会后、地域で行われる農業体験研修に申し込まれたり、長期研修先を具体的に決定されたりと、今後につながる動きも出ております。

今後も継続して関係機関や法人等と連携し、新規就農の促進に努めていきます。【担い手支援課】



ベテラン農家さんと話す相談者



個別の就農相談ブース

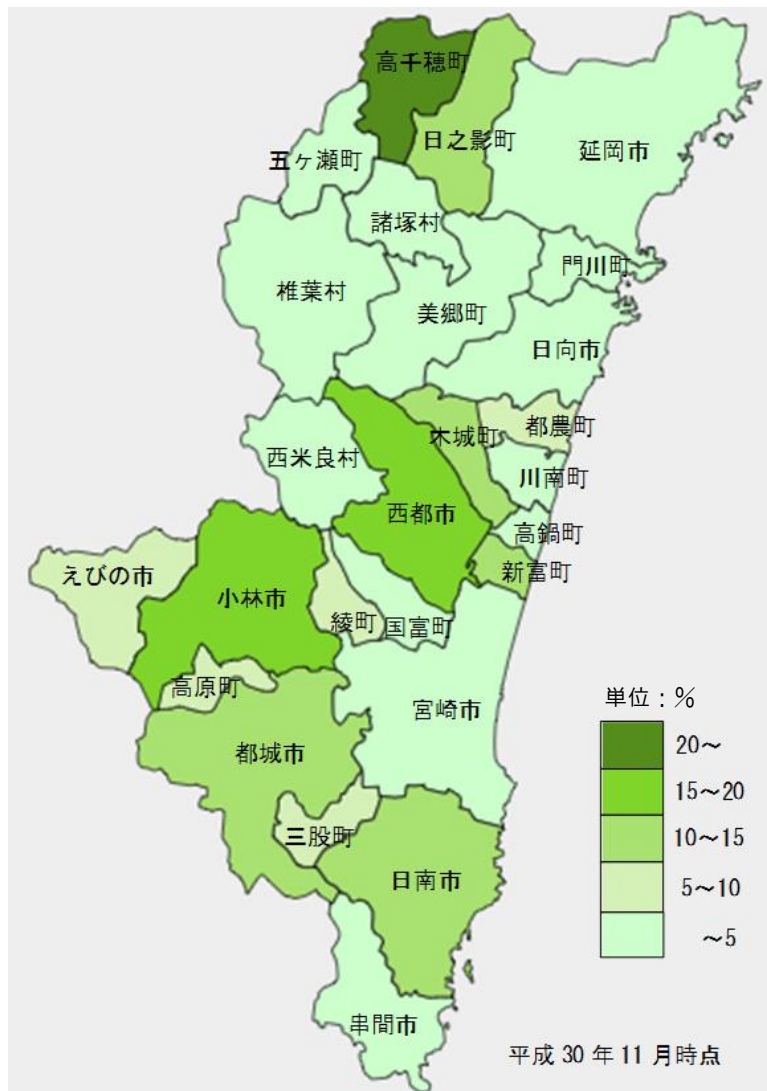


農業法人等ブース

農地中間管理事業について

平成 30 年度の農地中間管理事業の実績（11 月審査会時点）は、1,081.8 ヘクタールとなっています。これまでに地域での取り組みが一巡した市町村においては、集積した農地の効率的利用のため、集落営農組織や法人等の設立及び集約化のためのシャッフル（再配分）など新たな取り組みが行われております。

【農地第一課】



平成 26 年度から平成 30 年度の耕地面積に占める割合

市町村名	平成30年度 実績面積(ha)	平成26年度～ 平成30年度実績	
		面積(ha)	耕地面積に占める割合(%)
宮崎市	52.0	412.0	4.8
国富町	15.1	39.7	1.6
綾町	1.6	43.1	6.1
日南市	28.1	297.4	11.1
串間市	19.8	125.4	4.1
都城市	490.7	1,373.1	10.9
三股町	9.7	71.1	5.2
小林市	39.2	1,069.1	16.4
えびの市	17.8	274.1	7.4
高原町	36.1	129.7	5.9
西都市	193.7	681.9	17.3
高鍋町	18.4	41.6	2.8
新富町	34.1	253.6	11.7
西米良村	0.0	2.1	1.9
木城町	12.3	101.9	14.6
川南町	38.7	140.6	4.3
都農町	28.2	132.2	8.8
延岡市	25.8	51.4	1.8
日向市	7.1	72.1	4.9
門川町	1.4	20.2	4.7
美郷町	0.0	11.3	1.0
諸塚村	0.0	1.2	0.6
椎葉村	0.0	1.0	0.3
高千穂町	8.0	488.8	25.2
日之影町	4.0	106.7	14.0
五ヶ瀬町	0.0	26.2	3.5
計	1,081.8	5,967.6	8.9

※平成30年度は、11月審査会までの数字

※数字は、合意解約反映前

これからの行事予定

主催行事に★

日付	行事	会場	問い合わせ
1月13日(日) 2月23日(土)	マイナビ就農FEST 東京会場	ミライナタワー	担い手支援課
1月26日(土)	新・農業人フェア 東京会場	池袋サンシャインシティ	担い手支援課
2月27日(水)	6次産業化ミニチャレンジ塾 食品表示セミナー	西諸県農業改良普及センター	新農業支援課★
2月28日(木)	6次産業化ミニチャレンジ塾 食品表示セミナー	南那珂農業改良普及センター	新農業支援課★
3月7日(木)	6次産業化ミニチャレンジ塾 食品表示セミナー	東臼杵北部農業改良普及センター	新農業支援課★
3月8日(金)	衛生管理品質管理向上研修 集合セミナー	宮崎市内(未定)	新農業支援課★

豊かな農業経営・新しい未来のために

発行 公益社団法人宮崎県農業振興公社
〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14
電話 0985(51)2011 FAX0985(51)8006